

令和3年度 墨田区立中和小学校 経営報告書

令和4年3月8日

学 校 目 標	教職員、保護者、地域社会が一体となって推進する満足度の高い学校 (確かな学力の保障・豊かな社会性)
目 指 す 学 校 像	保護者・地域から信頼され、安心して子供を預けられ地域の学舎として誇られる学校
目 指 す 子 供 像	挨拶ができ、友達と仲良く学校生活を送り、「中和小学校」で学べて良かったと誇りに思える子供
目 指 す 教 師 像	子供の豊かな学びを大切にしながら、自らも教師修行に励む教師

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、子供に確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	B	落ちついた学習環境の中で基礎基本の学習が身に付いている。今後は ICT 機器を効果的に活用した授業の展開を模索していく。	A	A
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	A	昨年今年と組織的な支援体制は確立できた。今後も個を大切にするとともに、周りの児童が温かい支援が送れる学級づくりを目指す。	A	A
	学校は、子供の将来の自立に向けた教育活動・相談活動に取り組んでいるか。	A	昨年同様、目標を掲げて成功体験を積み、児童の達成感や満足度を高める。自己肯定感を高め、将来の夢や目標に向かう姿につなげる。	A	A
	学校は、教員の指導力・授業力を高めるために組織的に取り組んでいるか。	A	4月からオンライン授業への挑戦、タブレット活用の学習展開、6回の研究授業、研究授業事前検討会、夏季休業時の模擬授業、心理士による特別支援教育研修、SDG s の学習等、教師力向上を目指した。教科指導、学級経営の基本を研鑽していく。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等		コロナ対応を取りながら日々の教育活動を楽しめるようご尽力くださる先生方に大変感謝している。4年生の SDG s 動画は、児童が SDG s を身近に感じることができた素晴らしいアイデアだと思う。		

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	学校は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	A	いじめ報告は3つ。早期組織対応・被害児童の心に寄り添う・保護者に報告・丁寧な支援を繰り返して解決を目指す。児童の困り感は年3回調査で把握。今後も小さなトラブルの段階で管理職・担当委員会が解決を図る。	A	A
	学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	B	公民的資質（みんなの中で生きていく知恵）の育成に重点を置く。年3回家庭と連携して基本的な生活習慣の振り返りを実施。具体的な週目標で児童自ら評価を継続していく。	B	A
	学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。	A	今後も新生活様式（マスク着用・手指洗い・健康管理・心のケアなど）の徹底を図る。天災想定した避難訓練、登下校の見守り、防犯ブザー所持確認など、児童の安全意識向上を図る。	A	A

様式 4

			自助から共助への安全指導を行う。		
	学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立っているか。	A	保護者の意見や要望は真摯に受け止め、よりよい教育活動への追求は、「伝統と進取」の精神のもと惜しみなく挑戦していく。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	教科指導のベテランの先生方により丁寧に児童を指導いただき、先生方のご指導に感謝している。学校の努力を評価している。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、管理職の経営方針のもとに、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	A	若手教師の活躍の場、中堅教師による指導の活性化を図り、「チーム中和」のマンパワーを生かして教師力を伸ばす学校を目指す。	A	A
	学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	A	コロナ禍では、各学校行事をOODA（観察・状況判断/方針決定・意志決定・行動/改善）を通して実施。スピード感をもって児童の実態に合わせた目標設定を行い、評価・改善をしていく。	A	A
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	A	全学級2クラスとなり余裕スペースはない。定期的な環境整備、教育活動に有効な活用を模索していく。学び舎に相応しい、明るく人に優しい教育環境を目指す。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	オンライン授業やオンライン学校公開はオミクロン株の感染者数が急増している中で、とても役立っている。いち早く実施したことを高く評価している。今後に期待している。高い管理運営を評価している。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	B	学校・学年便り、行事プログラム等は、特色ある教育活動を伝える重要文書として作成した。オンライン授業やオンライン保護者会をいち早く実施。今後も教育活動の見える化を重視する。	A	A
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	A	多くの皆様にご理解と支援をいただき教育活動が実施できた。「中和の子供のために」を合言葉に「学校・保護者・地域の三位一体の教育活動」を推進する。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	毎月、学校便り「中和」では、学校の取組、児童の様子、行事報告等が掲載され、大変情報満載にて嬉しく拝読している。地域からの申し出等も快諾していただき感謝している。益々の充実発展を願う。			

2 令和3年度学校評価のまとめ

○今後も、地域が学校に対する思いや期待をしっかりと受けとめ、墨田区の伝統校として、地域の核としてのオンリーワン教育の充実を図っていく。

以上の通り報告いたします。

墨田区立中和小学校 学校長 寺崎 康子